

令和6年12月16日

奈良県知事 山下 真 殿

奈良県議会会派

日本維新の会、公明党、新政奈良

奈良県議会議員

井岡正徳、池田慎久、乾浩之、岩田国夫、浦西敦史  
齋藤有紀、田中惟允、山本進章、阪口保

## 奈良県・忠清南道友好提携 15 周年交流推進事業に関する申入書

令和7年に迎える日韓国交回復60周年及び奈良県・忠清南道友好提携15周年という大きな節目に実施する記念交流イベントをめぐっては、奈良県そして日本の始まりの飛鳥と韓国・忠清南道・扶余郡とは長い絆の歴史があること、日韓関係を良好に保つには地方間や民間の交流も重要であること、荒井正吾前知事が平成23年に忠清南道と協定を結びいっそうの交流が続いていること、世界文化遺産「飛鳥・藤原の宮都」登録推進に向けての韓国との関係等を考慮したうえで本イベント開催に賛成しますが、実施にあたり以下のことを要望致します。

### 記

1. 収支について、協賛金・寄附金の募集、イベントの有料化・効率化等実施手法の見直し等により、県からの実質的な支出額を縮減できるよう努めること。
2. 会場について、1で縮減した予算内で、奈良公園に限らず奈良県内の適地を幅広く挙げ、再検討すること。
3. 規模について、交通・環境・天候等の様々な制約を考慮しながら、再検討すること。
4. ムジークフェストなら、奈良マラソン等のイベントで実績があるボランティアにも協力を求めること。
5. 県内消費を促進する仕組みを設けること。
6. 昭和63年の「なら・シルクロード博覧会」収益金を原資として国際交流目的で積み立てていた基金約14億円について、効果的な活用方法を引き続き研究してゆくこと。
7. 以上のこと等の実施過程を県議会に丁寧に説明すること。

以上